

文化庁

〈月報〉

43. 10

昭和43年10月15日 発行

編集発行 文化庁長官官房庶務課

東京都千代田区霞が関3-2-2

電話 代表 (581) 4211

郵便番号 100

—〈第2号〉—

(題字=今日出海 文化庁長官)

明治百年記念 芸術祭祝典 で開幕

十月、十一月の二か月にわたって開催される芸術祭は、十月一日の「芸術祭祝典」(国立劇場)をもって開幕した。主催行事(既報)のほか参加公演の申し込みも出そろい、本年度芸術祭の全容が明らかになった。また、芸術祭公演の庄巻

である「アジア民族芸能祭」の参加団体、演目等が決定した。

□明治百年記念芸術祭祝典

十月一日午後六時から、国立劇場大劇場で挙行された。これには八千名にのぼる希望者のうちから約千七百名が無料招待された。

祝典は、第一部「式典」と第二部「邦楽・邦舞のゆうべ」からなり、「式典」では、今文化庁長官、高橋誠一郎芸術祭執行委員会委員長のあいさつに続いて、来賓の大佛次郎氏、藤原義江氏から祝辞が述べられた。第二部は、明治百年にちなみ明治・大正・昭和の三代にゆかりの名作三種が一流の演者によって上演された。すなわち、吾妻徳穂、坂東三津五郎ほかの出演、常磐津菊三郎、常磐津千束勢太夫ほかの演奏による舞踊・常磐津「お夏狂乱」(坪内逍遙作、常磐津文字兵衛作曲、藤間勘翁振り付け)、宮城喜代子社中による箏曲「越天楽変奏曲」(宮城道雄作曲)、花柳寿楽、花柳寿輔、花柳芳次郎ほかの出演、杵屋六左衛門、梅屋金太郎ほかの演奏による舞踊・長唄「土蜘蛛」(河竹黙阿弥作、三代杵屋正次郎作曲、初代花柳寿輔振り付け)が上演され、満堂の聴衆に深い感銘を与えた。

□参加公演

参加公演については、各部門ごとに審査委員会が内容を検討のうえ参加の可否を決定するものであるが、このほど決定した本年度の部門別参加公演(作品)数は、次のとおり。

◇演劇Ⅱ「明治太平記」(帝劇)ほか十一公演◇音楽Ⅱ公演によるもの◇邦楽「四人の会」ほか二十公演、放送によるもの◇東京放送「鏡またはひとつの旅」ほか十四作品◇合唱曲コンクールⅡNHK「山の四季」ほか十一作品◇舞踊Ⅱ工藤大式ノエラ・ポントワバレエほか三十公演◇能楽Ⅱ名曲能の会ほか十二公演◇映画Ⅱ日本劇映画Ⅱ日活「あひめゆりの塔」ほか七作品◇日本記録映画Ⅱ「青春」ほか二十三作品◇外国映画Ⅱパラマウント「異邦人」ほか七作品◇ラジオⅡNHK「はだかの功德」ほか十九作品◇テレビジョンⅡテレビドラマⅡNHK「とんころの歌」ほか十一作品◇テレビドキュメンタリーⅡNHK「ある出発」ほか十作品◇レコードⅡ国内盤Ⅱ日本コロムビア「雪のものがたり」ほか十二作品◇外国盤Ⅱ東芝「中世およびルネッサンス期におけるアンダルシアの歌」ほか十六作品◇大衆芸能Ⅱ1部ⅡNHK東西漫才大会ほか十七公演Ⅱ2部Ⅱ越路吹雪リサイタルほか五公演。以上総計二百四十一公演(作品)。

△写真Ⅱ国立劇場での祝典の第一部・中央はあいさつする今文化庁長官▽

文化庁

44. 1

〈月報〉

昭和44年1月15日 発行

編集 文化庁長官官房庶務課

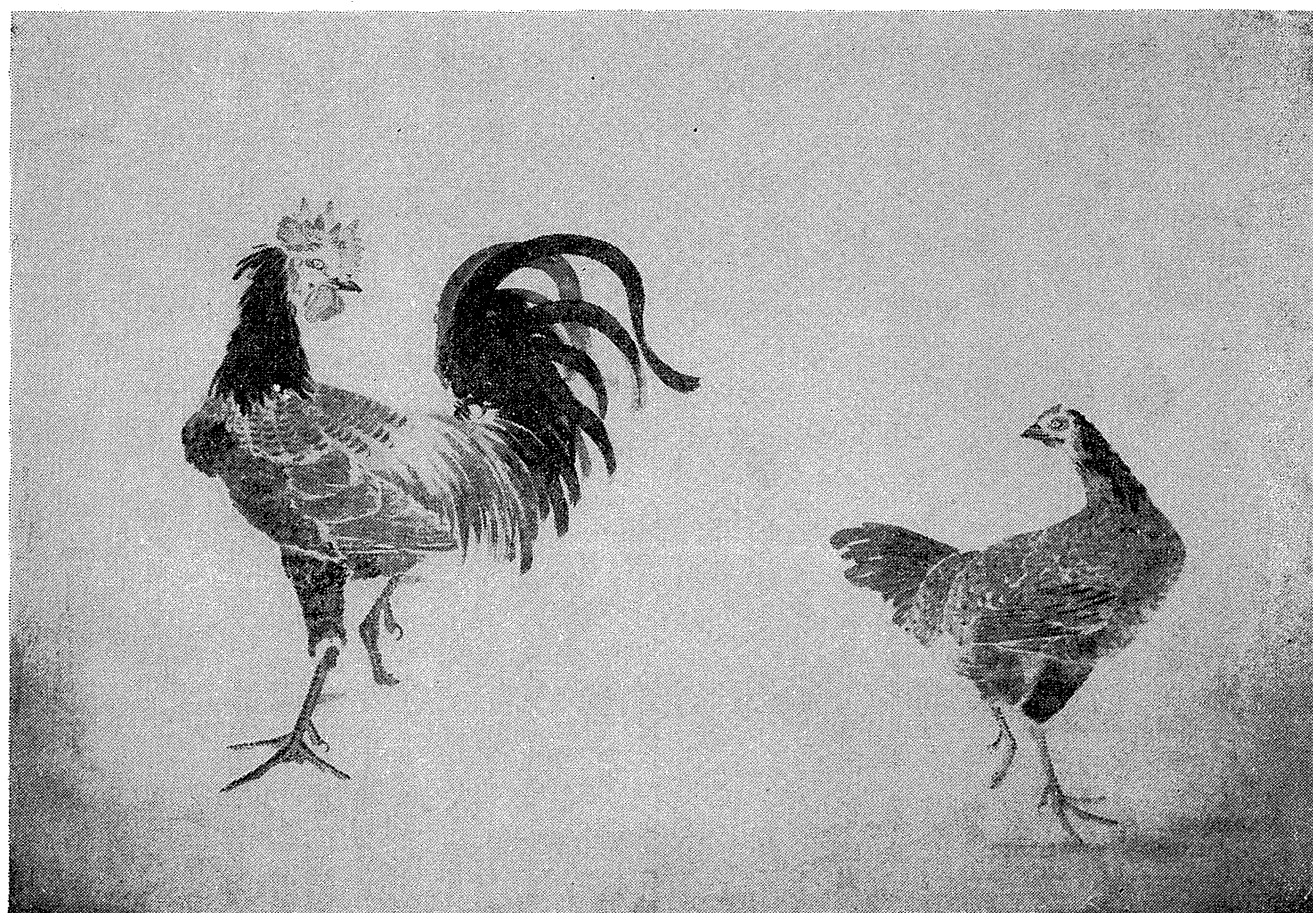
発行 東京都千代田区霞が関3-2-2

電話 代表 (581) 4 2 1 1

郵便番号 100

—〈第5号〉—

(題字=今日出海 文化庁長官)



・ も く じ ・

▽正月早々 今日出海……2

▽芸術祭賞・芸術祭奨励賞決まる……3

▽日本芸術院新会員に四氏決まる……5

▽国語施策をめぐって
熱心な意見交換……6

▽国際文化の交流……8

▽第十五回文化財防火デー……9

▽平城宮展の開催……11

▽装飾古墳壁画模写展開催……12

▽文化財愛護モデル地区だより……13

▽文化庁日誌・会議等予告……16

△写真▽

重文・鶏図伊藤若冲筆

江戸時代の画壇で、一きわ異彩を放っているのは伊藤若冲である。はじめ狩野派を学んだが、やがて光琳派の装飾性をとり入れ、独特の様式を確立した。殊に鶏の絵を得意とし、数々の傑作をのこしているが、これは鹿苑寺(金閣寺)の大書院の壁貼付に描いたもので、宝暦九年(一七五九)の作品である。

芸術文化の振興

明治百年記念

芸術祭

芸術祭賞・芸術祭奨励賞決まる

秋元松代氏ら25人、読売日響など43団体に

文化庁芸術祭執行委員会（委員長高橋誠一郎）は、さる十二月十九日午後二時半から国立教育会館で開催した総会で、本年度明治百年記念芸術祭の芸術祭賞（賞状・賞金十万円・賞牌）と芸術祭奨励賞（賞状・賞金五万円・賞牌）（別項）を決定し、即日公表した。授賞式は、本年一月二十五日（土）午後一時半から虎ノ門ホールで挙行される。

総会は、まず高橋委員長のあいさつに続き、演劇部門をはじめ各部門の審査委員長から当該部門の芸術祭賞・芸術祭奨励賞の推薦がなされ、これを満場一致で承認した。次に本年度主催公演のうち、特に明治百年記念特別公演として実施した歌舞伎「三姉妹」、オペラ「袈裟と盛遠」、バレエ「ミランダ」および「アジア民族芸能祭」の成果について、企画を担当した委員を代表し、利倉幸一、大木正興、江口博、本田安次の各氏から報告がなされ、あわせて明年度以降の芸術祭の充実強化について要望があった。

このあと、土生芸術課長から、明年度

以降の芸術祭の改訂方針とそれに伴う予算要求の概要を説明した。次いで渋沢秀雄委員から、「ことしの明治百年記念芸術祭を契機として、さらに充実した芸術祭を実施するためには、明年度芸術祭予算の増額をこの総会の名において大蔵省へ要望してどうか。」との緊急提案（別項要望書）があり、これを満場一致で決議し、安達次長が閉会のあいさつをのべて午後四時半終了した。

なお、総会終了後、高橋誠一郎委員長ほか各部門有志委員が大蔵省に要望書を提出し陳情を行なった。

明治百年記念芸術祭各部門の受賞者（団体）は次のとおり。（かっこ内は受賞対象）

芸術祭賞

（個人五、団体九、計十四）
 「演劇」秋元松代（劇団演劇座公演「常陸坊海尊」の脚本）
 「音楽」△公演によるもの▽読売日本交響楽団（第五十回定期演奏会の「ルカ受難曲（ベンデレッキ）」の演奏）△厳本真理弦楽四重奏団（第十五回定期演奏会の成果）△合唱曲コンクール▽株式会社東京放送「混声合唱のためのデヴィエルトメント」（谷川俊太郎作詞・団伊玖磨作曲）

「能楽」△友枝喜久夫（「還暦記念能」における「狸々乱」のシテの演技）

「映画」△日本劇映画▽株式会社日本

アート・シアター・ギルド、「肉弾」をつくる会（劇映画「肉弾」）△日本記録映画▽株式会社記録映画社（記録映画「松本城」）

「ラジオ」△株式会社文化放送（ラジオのためのポエム「小笠原からあなたへ」）
 「テレビジョン」△ドラマ▽東海テレビ放送株式会社（テレビドラマ「飛騨古系」）

「レコード」△国内盤▽日本ビクター株式会社（間宮芳生作曲の「合唱のためのコンポジション第一番―第六番」）

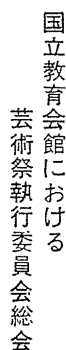
「大衆芸能」△一部▽林家正蔵（東西交流落語会における「淀五郎」の活芸）
 △二部▽宝塚歌劇団（ミュージカル「ウェスト・サイド物語」の舞台成果）

「公募脚本」△ラジオ脚本▽鶴野昭彦（ラジオドラマ脚本「めぐりあい」）△テレビドラマ脚本▽丸山佐紀子（テレビドラマ脚本「れん（恋）」）

芸術祭奨励賞

（個人二十、団体三十四計五十四）
 「演劇」△実川延若（歌舞伎座公演「成政」の佐々成政の演技）△劇団四季（日生劇場・劇団四季提携第十三回公演「ハムレット」の成果）△劇団青年座（新劇「禿の女歌手」の成果）△劇団手織座（新劇「人間最後の誇り」の成果）

「音楽」△公演によるもの▽安倍圭子（「安倍圭子マリンバの夕べ」の演奏）
 △山川園松（「管弦と打楽器のための小



組曲」の作曲) ◇稀音家六やま(「青面美童」の作曲) ◇藤井千代賀(第二回筆曲演奏会における「雲井弄斎」の演奏) ◇放送によるもの◇◇日本放送協会(宮下秀列作曲の「生々流転」) ◇日本放送協会(石井真木作曲の「響応」) ◇合唱曲コンクール◇◇東海ラジオ放送株式会社(男声合唱とピアノによる蒸気機関車への讃歌「走れ・わが心」(伊藤海彦作詞・大中恩作曲)) ◇日本放送協会(合唱組曲「五つの童画」(高田敏子作詞・三善晃作曲))

〔舞踊〕◇西田堯（西田堯舞踊団第三回
やまひだ ふまつり
公演の「山褰の巫祭」の演出・振り付け）

◇英二三枝子（英二三枝子創作舞踊公演の「そこ」からの演出）◇五条珠実（第五十一回珠実会の「お夏狂乱」の演出・演技）◇工藤大武（工藤大武Ⅱノエラ・ボントウ公演の「デイスバリション」の演出・振り付け）◇今井栄子（第五回今井栄子舞いの会の「水仙丹前」の演技）◇五条雅己（第二十三回東横創作舞踊の会の「空蟬」の振り付け）◇若柳光妙（第二十三回東横創作舞踊の会の「縄のれん」の演技）

〔能楽〕◇野村万之丞・野村万作・野村万蔵（「鏡仙会例会」における狂言「栗田口」の演技）◇名曲能の会「名曲能の会別会」における「葵上」の成果

〔映画〕△日本記録映画▽財団法人博物館明治村（人形劇映画「明治はるあき」）◇株式会社桜映画社（記録映画「竜門の人びと」）◇株式会社読売映画社（記録映画「北海道物語」）◇朝日新聞社・朝日テレビニュース社（記録映画「青春」）△外国映画▽日本ユナイテッド・アーチスツ映画会社（外国映画「マルキ・ド・サドの演出のもとにチャラントン精神病院の患者によって演じられたジャン・ポール・マラーの迫害と暗殺」）

〔ラジオ〕◇青森放送株式会社（「三味線による叙事詩「狼少年」」）◇株式会社熊本放送（ラジオドキュメンタリー「のんのん」）◇日本放送協会（放送劇「夜の鳥」）◇中部日本放送株式会社（放送劇「コザの兄弟」）◇日本放送協会（放送劇「はだかの功德」）

本年六月、文化庁が新設され、国が芸術文化の振興に積極的に取り組む姿勢を示されたことは、御同慶にたえま
せん。

國の行なう芸術の祭典として昭和二十一年以来、毎年実施している芸術祭も、今年は明治百年記念事業の一環として実施し、従来になく多彩で充実した芸術祭として一般から好評を博しました。

しかし、この芸術祭も国の行なう芸術の祭典としては、この規模程度では、まだ決してじゅうぶんなものとは

言えません。ましてこれが、本年限りのものとして再び平年にもどるようなことになるならば、実に遺憾なことでは

あります。むしろ、明治百年を契機として、芸術祭をさらにいっそう充実し、海外にも注目される芸術祭にして

「テレビジョン」△ドラマ▽△関西テレビ放送株式会社（テレビドラマ「青やからわたったんや」）△日本テレビ放送網株式会社（テレビドラマ「日本の幸福」）△日本放送協会（テレビドラマ「ふたり」）△テレビドキュメンタリー▽△日本放送協会（テレビドキュメンタリー「高速」）△株式会社毎日放送（テレビドキュメンタリー「日本音楽の生と死」）△広島テレビ放送株式会社（テレビドキュメン

こそ意義があり、わが国芸術文化の振興にも大きく寄与するものとなるのであります。

芸術祭執行委員会は、以上の趣旨に
かんがみ、昭和四十三年十二月十九日
開催の第二回総会において次のように
決議しましたので、政府におかれて
は、その実現方につきよろしく御高配
くださるよう強く要望いたします。

一 芸術祭を名実ともに芸術の祭典とするため、明年度以降の芸術祭は、さきに発表された「改正方針」にのっとり刷新充実を図ること。

二 政府は、明年度芸術祭から右について実現できるよう、必要な予算措置をとること。

昭和四十三年十二月十九日

文化庁芸術祭執行委員会委員長

高橋誠一郎

タリー「朝顔」◇日本放送協会(テレビドキュメンタリー「乗船名簿A R 29」)
「レコード」△国内盤▽◇東芝音楽工業株式会社(箏曲「古典名曲の比較研究」)
◇キングレコード株式会社(「日本の弦楽四重奏曲」)△外国盤▽◇日本コロムビア株式会社(「ペートーウェン弦楽四重奏曲第十五番イ短調作品一三二」)
◇日本グラモフォン株式会社(「バッハ無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパ

ルティータ」) ◇日本コロムビア株式会社
社(「チェコスロヴァキア民俗音楽大系」)
◇東芝音楽工業株式会社(「パッサミサ曲口短調」)
◇東芝音楽工業株式会社(中世及びルネッサンス期における「アングルシーアの歌」)
◇日本コロムビ

株式会社(モンテヴェルディ音楽寓話劇「オルフェオ」全曲)
「大衆芸能」△一部◇桂小南(第一八八回三越落語会における「三十石」の話芸)
◇桜井長一郎(三越劇場公演「模写変遷史」における演技) ◇シャンパロー

(第三十七回ボーイズ大行進における「シャンパロー三部作」の演奏・演技) △二部◇越路吹雪(「越路吹雪リサイタル」の歌唱)
「公募脚本」△ラジオ脚本◇北村一夫(ラジオドラマ脚本「青い光の粒」) ◇

加藤明(ラジオドラマ脚本「音」) △テレビ脚本◇松本紀子(テレビドラマ脚本「キャット・マーチ」) ◇関口きよ子(テレビドラマ脚本「濁流」)